

教員紹介



水野暁子(子ども発達学科 初等教育専修)

「生物と人間」や「理科研究」を担当している水野暁子です。元々の専門は植物生理学で、植物の細胞膜や細胞壁が生長に果たしている役割を中心に研究してきました。酸性雨で植物が枯れる原因を探ったこともあります。これからは、「植物の茎や根の中の構造がどうしてああいう形をしているのか」ということを探求したいです。私が担当する「理科研究」は、「こんなに楽しいことやで、あんたらも楽しんじゃあ」という感じになると思います。

また、障害のある学生さんたちと付き合うようになって、手話学習ソフトや触図作成用ソフト、触図ペンなどを作製してきました。いずれも、学習支援を楽にするためのものです。私は、楽にするためには努力を惜しみません。

一番の趣味は読書で、今はまっているのは、塩野七生の「ローマ人の物語」。他には、ケータイの待受画面(藤城清治の影絵がお勧めです)や着メロを集めること。着メロを聴いてしまっていて、電話に出ないこともありますが・・・

(好奇心旺盛の水野暁子先生です)



中村信次(心理臨床学科)

こんにちは。今年から心理臨床学科に所属することになりました中村信次と申します。子ども発達学部に移籍する前は、6年間半田キャンパスの情報社会科学部で、心理学や情報処理の担当をしていました。その前10年間は某大手自動車メーカーで基礎研究を行っておりました。専門は知覚心理学です。運動や空間の認識にかかわる人間の知覚情報処理プロセスを、心理実験を用いて検討するという研究を大学在学中から20年以上(も!)続けています。どうして心理学で実験をするのか? どうして自動車会社にも心理学が必要なのか? 等々、また講義の中でお話をさせていただきたいと思います。思えば大学入学時、無謀にも「人がなぜ世界を”識る”ことができるのか」を解き明かしたいと考え心理学を志し、早くも22年が経過してしまいました。「日暮れて道なお遠し」です。皆さんと一緒に「人のこころ」の不思議さを考え、一歩ずつ前に進みたいと思っております。(新入生セミナーでカメラマンとして大活躍の中村信次先生です)

- クイズの答え
Q1→ヤギ、Q2→6曲、Q3→あや子

学生に公募していたニュースレターのタイトルは「We ♥ こたつ」に決定しました。「こたつ」「コタツッ」という名称で応募してくれた人もいました。子ども発達(「こどもは「こたつ」)の『こたつ』です。暖かい団楽のイメージと重ねているそうです。

編集長:近藤直子(心理臨床学科)、編集委員:遠藤由美(子ども発達学科)、山本敏郎(子ども発達学科)、佐藤雅信(事務長)

2008年1月誕生 子ども発達学部 開設記念企画 7月26日(土)

第1部 開設記念講演会 13:30~15:00

未来の子どもたちへ
— これからの保育・教育と子育て支援 —
講師: **茂木 俊彦 氏**
(桜美林大学教授、元東京都立大学総長)

第2部 実技・体験講座、ミニ講演 15:15~16:45

◆ 図画工作室、音楽実習室、保育実習室、理科実験室での実技・体験講座

◆ なるには講座
幼稚園・小学校教諭、児童福祉施設の職員として活躍している本学の卒業生から、その職業に就くためのアドバイスや、或いは実際に現場でどのような仕事をしているのか、生の声で語ってもらいます。

◆ ミニ講座および発達支援相談
「今日の発達支援の到達点と課題」

講師:日本福祉大学 子ども発達学部 近藤直子 教授

★ どなたでも参加できます ★

場所: 美浜キャンパス
第1部: 文化ホール
第2部: 15号館



<オープンキャンパス 子ども発達学部>

★ テーマ別体験講座

7月19日(土)

山本敏郎教授 「**授業の常識をひっくり返す!**」
近藤直子教授 「**子どもの心を理解すること**」

7月20日(日)

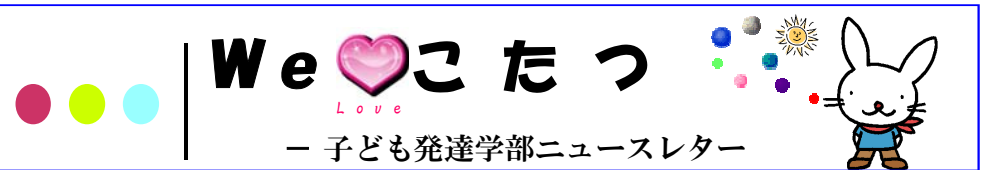
山本秀人教授 「**運動ざらい・体育ざらいをつくらない!**」
堀美和子准教授 「**支援が必要な子ども**」の気持ちを体験的に理解してみよう!

8月23日(土)

亀谷和史教授 「**時代を切り拓く保育者・教師の養成をめざして**」
中村信次准教授 「**こころ**」の不思議を科学する

※3日とも、入学に関する「教員の相談コーナー」があります。7月19日と8月23日は、AOガイダンスもあります。

第2号は、12月初めに発行予定です。イラスト、記者を募集中です。近藤直子学科長または学事課(佐藤)へ。



2008年4月子ども発達学部がスタート

時代を切り拓く学校教師、
保育士・心理職の教育を



日本福祉大学では今年度、新たに子ども発達学部(定員265名)が開設されました。子ども発達学部は、子ども発達学科(定員150名)、心理臨床学科(定員115名)の2学科構成です。子ども発達学科は、さらに保育専修と初等教育専修に分かれており、それぞれ新たな時代の要請に応えた保育者(保育士・幼稚園教諭)と小学校教諭の養成を行っています。東海地域の私立大学としては、初等教育教員養成校のなかで、数少ない男女共学の養成校でもあります。

また、心理臨床学科でも、臨床心理士養成の基礎学部としてのみならず、教職課程を新たに設置し、中学校社会科・高校公民科免許状取得の教員養成をはじめます。あ

2008年度 第1号 7月1日発行



子ども発達実習棟(15号館)の外観

学部長 亀谷和史

わせて学部全体として、これまで取り組んできた本学の障害者福祉・障害児教育の歴史と伝統を引き継ぎ、さらにカウンセリングの素養を有した特別支援学校教諭(旧養護学校教諭)の養成を行っています。

これまでも本学では、開設以来1995年まで約三十数年間、女子短期大学部保育科で、保育者の養成に取り組んでまいりました。短期大学部保育科での教育研究の「発展的継承」として、念願の児童福祉、保育・教育系学科の「復活」と「再生」の第一歩を、心理臨床学科とともに踏み出すことができました。これも皆様方のご支援のおかげであり、ここに深く感謝いたします。

今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

目次:

子ども発達学部がスタート	1
新入生セミナーあれこれ	2・3
新入生セミナークイズ	2
教員紹介	4
子ども発達学部開設記念企画	4
オープンキャンパス企画	4



子ども発達実習棟(15号館)での授業風景



初めての新生を迎えて実施された「新生セミナー」はどうだったでしょうか。4月16日から17日にかけて実施された「新生セミナー」では、深夜まで語り明かしたゼミもあったよう。セミナーの風景を写真とともに振り返ってください。



16日の12時に集合。名札をつけてさあ出発！



浜名湖畔山寺温泉のホテルエンバイアに到着。荷物を置いてクラス交流会。



中里先生うれしそう



夕食にはもちろん膳も、そして山盛りのおかわりも。



着ぐるみ3人衆



帰りのバスで爆睡した学生たちでしたが、セミナーの感想はいかに・・・。

井上こみちさんの講演では、前もってNHKラジオでお話を聞いたが、直接聞くことができたことによって、さらに考えを深めることができました。今までは戦時のときに失った命は人の命しかあまり考えていなかったが、失われた命は人だけでなく、同じ地球に生きている動物たちの命も奪われていたことに気づきました。私たち自身が人であることによって、人の命が一番重く思いがちですが、本当はすべての命が平等に大切にされるべきなのだとわかりました。(磯部ゼミ)

小中高で行ってきた修学旅行のような気分でした。ゼミのみんなとも交流会や夜で仲良くなることができました。2日目の朝は、ほとんどのみんながフラフラになりつつも、二本松さんのつながり遊びを大学生とは思えないほど、小学生のようにはしゃいで盛り上がることができました。これからの「総合演習」での学習を通し、もっとみんなの仲が深まることを期待します。(山本敏郎ゼミ)

私は「つながり遊び」と聞いて、最初は「何をやるんだろう」と疑問に思いました。実際「つながり遊び」をやってみると意外と楽しい、勉強になると思いました。2人ペアを作って遊ぶときは、なかなかペアが見つからなくておどおどしてしまいました。でも、優しい男性の方が声を掛けてくれて、やっとながら遊びができました。今までは、友達としか遊ばなかったのですが、今回は友達以外、同性とはなく異性とも交流することができました。これこそつながりなのではないでしょうかと思います。(池谷ゼミ)

新生セミナーあれこれ・・・

新生セミナークイズ！

- Q1 井上こみちさんが紹介した絵本の題名「〇〇の行く幼稚園」の〇〇に入るのは次のうちどれ？
ウマ、イヌ、ネコ、ヤギ、ブタ
- Q2 二本松はじめさんが歌った曲は何曲？
5曲、6曲、7曲、8曲、10曲
- Q3 ジャンケン電車で最後に残ったのは誰？
あい子、あゆみ、あや子、あずさ、あつ子



翌17日は、あいにくの雨。浜松市の体育館に移動して愛称ピカリンこと二本松はじめさんの「つながりあそび」とミニコンサート。最初は睡眠不足でぼーっとしていた学生たちも、肩を組み歌を歌い走りながらどんどん盛り上がりました。さすが7口は違うっ！



夕食後は、井上こみちさんの講演。



前座ゼミの安藤君からは質問まで出されました。う～ん、すごい。



ピカリン



綺麗なオレンジパークでお昼ごはん。



先生たちとのジャンケン遊びで、子ども発達学科生の感想「信じられん、またちょきかよ〜」、心理臨床学科生の感想「心理学の先生相手のジャンケンはおもしろい！」

